

政策等の評価の実施状況及び評価結果の政策等への反映状況

I 政策等の評価の種類

○事業評価(事後評価)

II 実施状況

1 事業評価(事後評価)の対象

○次の各号のいずれかに該当する事業を対象として実施する。ただし、一及び二については、目標設定の対象外事業及び事業化を直接目的としない調整事業を除く。

- 一 大規模事業
事業費が10億円以上の施設整備事業で、事業が終了した日から2年又は6年を経過した日の属する年度が平成30年度である事業
- 二 ソフト事業
総事業費が1千万円以上で、平成29年度に終了した事業

2 事業評価(事後評価)の実施時期

○終了事業所管課長の評価 平成30年5月

3 事業評価(事後評価)に用いたデータ

- 住民満足度の状況
- 事業の効果を把握するための手法及び成果の状況

4 事業評価(事後評価)に用いた観点

有効性	○ 住民満足度等の状況	A：「有効性は高い」
	○ 事業目標の達成状況	B：「有効性はある」 C：「有効性は低い」
効率性	○ 事業の経済性の妥当性	A：「効率性は高い」 B：「効率性はある」 C：「効率性は低い」

III 事業評価(事後評価)結果の概要及び評価結果の政策等への反映状況

1 評価結果の概要

○大規模及びソフト事業 評価件数：11件

A：「妥当性が高い」	全ての観点の評価結果が「A」判定	7件
B：「概ね妥当である」	「A」、「C」以外	4件
C：「妥当性が低い」	全ての観点の評価結果が「C」判定	0件

詳細は、別紙一覧表及び各評価調書を参照

2 政策等への反映状況

類似事業の企画立案に活用させるものとする。

平成30年度事業評価（事後評価）結果一覧表

	事業名	事後評価区分	当初計画事業費(千円)	最終事業費(千円)	開始年度	終了年度	部局名	課室名	有効性	効率性	総合評価
1	能代松陽高等学校建設事業	大規模事業(1年経過)	4,357,571	4,354,962	2009	2016	教育委員会	教育庁総務課施設整備室	B	A	B
2	秋田中央高等学校整備事業	大規模事業(1年経過)	4,642,232	4,403,209	2010	2016	教育委員会	教育庁総務課施設整備室	A	A	A
3	角館高等学校等整備事業	大規模事業(1年経過)	4,482,152	4,446,814	2011	2016	教育委員会	教育庁総務課施設整備室	A	A	A
4	大館桂桜高等学校整備事業	大規模事業(1年経過)	4,968,021	4,949,307	2012	2016	教育委員会	教育庁総務課施設整備室	A	A	A
5	秋田地区中高一貫教育校整備事業	大規模事業(1年経過)	1,443,582	1,443,320	2014	2016	教育委員会	教育庁総務課施設整備室	A	A	A
6	秋田北鷹高等学校建設事業	大規模事業(5年経過)	4,980,438	4,713,295	2006	2012	教育委員会	教育庁総務課施設整備室	B	A	B
7	認定こども園拡充事業	ソフト事業	19,109	10,453	2008	2017	教育委員会	幼保推進課	A	A	A
8	高校生未来創造支援事業	ソフト事業	366,508	344,796	2008	2017	教育委員会	高校教育課	B	B	B
9	あきた発！英語コミュニケーション能力育成事業	ソフト事業	516,299	478,446	2012	2017	教育委員会	高校教育課	A	A	A
10	第27回全国産業教育フェア秋田大会開催事業	ソフト事業	32,660	32,013	2016	2017	教育委員会	高校教育課	B	B	B
11	特別支援学校職域開拓促進事業	ソフト事業	19,975	17,888	2015	2017	教育委員会	特別支援教育課	A	A	A